キャラクター名
月 雰夜（ツキナシ キリヤ）

プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ ウロボロス	ワークス	高校生	カヴァー	高校生
オプショナル		年齢	17	性別	男
覚醒	渇望	衝動	飢餓	初期侵食率	34 %
出自	安定した家庭	経験	小さな名誉	邂逅	恩人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	4	1	3	3		11
感覚	1	0	0			1
精神	2	0	0			2
社会	1	0	0			1

HP	44
行動値	4
(非装備時)	4
戦闘移動	9
全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	11		射撃			ＲＣ	2		交渉		
回避	1		知覚	1		意志	3		調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：噂話	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
インフィニティウェポン	白兵	11r+11	3	LV+7		
		0				
↓欲しいものリスト		0				どっちか取れればラッキー
クリスタルシールド	白兵	11r+10	12	0		購入25

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
コネ：噂好きの友人	
ウェポンケース	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
傍らに立つ影	P	N		
八重樫若菜	P 信頼	N 恥辱		
七海弓花	P 連帯感	N 劣等感		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:	2	残り財産P：	0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
ハンティングスタイル	1	1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：戦闘移動、エンゲージ無視、[LV]回/シーン								
青：ダブルクリエイト	1	3+1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：《インフィニティウェポン》をもう一つ作成、攻撃力+[LV]								
インフィニティウェポン	1	3	マイナー	至近	自身	自動	D	
効果：白兵武器作成								
コンセ：キュマイラ	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果：C値-[LV](下限7)								
獣の力	5	2	メジャー	武器	単体	対決	-	
効果：攻撃力+[LV*2]								
赤：マルチウェポン	★	3+1	メジャー	武器	-	対決	-	
効果：装備武器合計								
イージスの盾	3	3	オート	至近	自身	自動	-	
効果：G値+[LV]D10								
軍神の守り	★	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果：カバーリング、行動消費なし、1回/メイン								
雲散霧消	5	4	オート	至近	範囲（選択）	自動	-	
効果：HPダメージ-[LV*5]、1回/ラウンド								
黒：拡散する世界	★	10+2	オート	視界	単体	自動	100	
効果：範囲・射程変更、HP20消費、1回/シナリオ								
獣の直感	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果：天候や災害を予知する								
猫の瞳	★	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果：暗闇をも見通す瞳を持つ								
効果：								

饕餮(トウテツ)
中国神話に登場する怪物、四凶の一つとされる。
財を貪り、食物を貪り、魔すらも喰らう猛獣。

至って普通の、どこにでもいる高校生だった。潜在的なオーヴァードであるとかそんなこともない、ただのありふれた。
覚醒のきっかけとなったのは『連続通り魔事件』。彼自身が標的であったのか、それとも偶然だったのか、それは定かではない。
ただの一般人であった彼になすすべはなかった。身を挺して守った少年がいなければ、覚醒などする間もなく死んでいたかもしれない。
彼を守ったのは、不良少年として多くの同種の者や極道の者をも退けたといわれ、誰からも恐れられる、独りの虎だった。
虎は凶刃により大怪我を負ったが、それでも心までは砕けていなかった。
彼は虎の闘志に奮い立てられた。心を、そしてレネゲイドを。
そして、彼は一人の剣士となった。その彼が振るう剣には、鷺の瞳をした虎が宿っているのだとか。

N市公立高校に通う高校二年生。剣道部にて部長を任せられている。
学力は上の下程度。一応理系にあたる。運動に関しては球技はからっきし苦手、かといって陸上競技や水泳が出来るわけでもない。
ただし動体視力と反射神経は人以上にあるので使い方がわかってないタイプの運動音痴。
剣道の腕は地方大会では負けないが、県大会まで進出するとだいたい予選敗退といったところ。
剣道家ということで芯が通っており、筋は絶対に通す。嘘をつくのはあまり得意ではく、すぐ顔に出る。
自分が弱いことを自覚しているが、逃げることだけは絶対にしない。変なところが頑固であるとみられがちだが、譲れないものがある時には絶対に引かない。
八幡泰河については覚醒以前は近付きたくない隣のクラスの同級生といった認識であったが、現在は彼のことを噂通りの人間ではないと認めており、頻繁に見舞いに行く程度の仲になっている。そのため最近の悩みの種は彼の自称舎弟達に絡まれることで内申点が下がることである。